

令和7年度の重点課題

○男子  
全体的に数値が低い。2年の巧緻性・筋パワー（ボール投げ）以外の種目において、全国かつ県平均を超えている。

○女子  
全体的に数値は高い。特に柔軟性（長座体前屈）や筋パワー（立ち幅とび）に伸びがあった。全ての種目で全国かつ県平均を超えている。

☆全体分析  
巧緻性・筋パワーについて、通年的に取り組むことで、向上が期待できる。  
運動が好きな生徒が多く、運動に親しむ習慣を持っているが、積極的に運動を実施する生徒と運動不足の生徒の二極化が見られる。  
また、やや嫌いな生徒もいるため、授業や日常生活で運動に親しむ習慣を身につける。

上記の課題を受けて具体的に  
取り組んだ事項

- ①学校全体での取り組み
- ・学校教育全体計画に体力づくりを位置づけ、体力を運動面・健康面・精神面等の多面的から捉え、「体力」「健康」をキーワードにつながりを意識する。
- ②保健体育科での取り組み
- ・保健体育科として、年間指導計画に基づき、体づくり運動を充実させるとともに種目の特性に応じたものや課題である体力要素に対する補強運動を通年的に実施する。
- ③体育的な行事の充実
- ・体育的な行事を充実させることによって、意欲的に運動に取り組む姿勢を身に付けさせる。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	33.14	28.79	49.35	54.11	85.56		7.77	206.32	20.34	44.65	第2学年	27.96	25.33	56.86	51.56	59.48		8.69	187.96	14.33	59.56
県平均値かつ全国平均値未満																					

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	33.14	28.79	49.35	54.11	85.56		7.77	206.32	20.34	44.65	第2学年	27.96	25.33	56.86	51.56	59.48		8.69	187.96	14.33	59.56
県平均値かつ全国平均値未満																					

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	72.41	24.14	3.45	0.00	第2学年	42.86	37.14	20.00	0.00

重点課題

情意面での課題

「運動やスポーツをすることは好きですか」について、肯定的評価90%以上である。一方で、「運動やスポーツをすることは得意ですか」「運動やスポーツの実施状況(体育授業を除く)」では、73%にとどまる。学んだ知識が【使える】段階になるよう、手立てと指導の工夫が必要である。  
また、「体力テストや体力運動能力向上について目標を立てているか」について、肯定的評価が80%台にとどまる。目標を立て、結果について個人内評価を大切にすることや達成感を味わえるよう、授業を仕組んでいく必要がある。

体力面での課題

〈男子〉  
・2年生「ハンドボール投げ」が全国かつ県平均値未満であった。  
〈女子〉  
・2年生「50m走」「ハンドボール投げ」は、全国かつ県平均値には達しているものの差はない。  
☆全体分析  
筋パワー スピード 巧緻性 の運動要素について課題が残る。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

◎補強運動  
「筋パワー」「筋持久力」「巧緻性」について、通年的に取り組み向上を図る。  
◎年2回の体力テスト実施  
目標を立て、個人評価を大切にすることで「できた」につなげる。  
◎多面的・多角的に運動を捉える  
意図的に知識量を増やすことや「する」「見る」「支える」「知る」の視点を大切にし、主体性や運動に親しむ態度の醸成につなげる。

体育の授業以外で行う取組内容

◎体育的行事の充実  
体育大会や駅伝大会を通して、体力向上とともに一所懸命に粘り強くやり切りの力を育て、達成感を味わわせる。  
◎学校全体での取り組み  
・学校教育全体計画に体力づくりを位置づけ、「体力」「健康」をキーワードにつながりを意識する。  
・体力づくりについて、「目的」「実態」「取り組み」を全教職員に周知し、カリキュラムマネジメントの確立を図る。

令和8年度の重点目標値

○すべての項目において、全国平均かつ県平均を上回る。

○課題である運動要素（筋パワー・スピード・巧緻性）について、昨年度の数値を上回る。

○「運動が好き」肯定的評価95%

☆授業、体育的行事を充実させ「一所懸命」「粘り強く」「やり切る」力を身につける→学校教育目標の具現化